

『リーン・スタートアップ』
エリック・リース 著
日経BP社



事業を仕掛ける際、事業計画をしっかりと立てるより、トライ・アンド・エラーを繰り返して事業を形にしていくのが得策。成功の近道は今すぐ歩きはじめること！

『失敗学のすすめ』
畑村 洋太郎 著
講談社



失敗と向き合い学ぶことの大切さを教えてくれる一冊。「やってはならないこと」を理解すれば、後々の成功に必ずつながる！

『意志決定力』
本田 直之 著
ダイヤモンド社



意志決定力に必要なのは、客観性であり、すぐに行動に移していく一種の習慣である！

『カブーム!』
ダレル・ハモンド 著
英治出版



資金も人材もない民間組織が自治体で替わって公共施設開発を実現させている。民間の小さな取り組みが全体を変化させる実態に迫った一冊。

『はじめの一步を踏み出そう』
マイケル・E. ガーバー 著
世界文化社



成果をあげる人は「はじめの一步」を躊躇しない。一步踏み出し、考えながら軌道修正し、進めていくことが何より大切だと教えてくれる一冊。

『ハーバード流交渉術』
フィッシャー&ユーリー 著
三笠書房



交渉では自分がイニシアティブを握り、「より上位の目標を共有する」ことが基本。総論で賛成を確認しながらも、自分の意見を通す交渉術を身につけよう！

『ブルー・オーシャン戦略』
W. チャン・キム 著
ダイヤモンド社



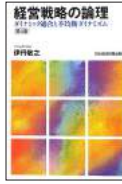
他者が参加しにくく、自分たちの得意な戦い方ができる市場で事業に取り組むことがいかに大切であるか。ニッチな闘い方がよくわかる一冊。

『V字回復の経営』
三枝 匡 著
日本経済新聞出版社



まちの再生も、企業の再生も実は大変似ている。最初の一手として「猛烈な反省」をし、そこから再生をはじめよう！

『経営戦略の論理』
伊丹 敬之 著
日本経済新聞出版社



伝統的な経営戦略論の中でも、自分たちの資源で有効な一手を考えるのに役立つ。地域のおおまかな取り組みを決める上で参考にしよう。

『実践フィールドワーク入門』
佐藤 郁哉 著
有斐閣



地域に入り込み課題解決を図る上で、フィールドワークの基礎知識は必須。単に話すのと、情報聞き出す勘所を押さえて話すのでは、得られる情報量が圧倒的に違う。

『財務3表一休理解法』
國貞 克則 著
朝日新聞出版



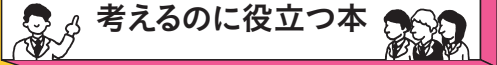
貸借対照表、損益計算表、キャッシュフロー計算書の3表の運動と数字の仕組みが簡単にわかる一冊。数字が苦手な方にオススメ。

『考える技術・書く技術』
バーバラ・ミント 著
ダイヤモンド社



物事を考える時、書き記して人に伝える時に必要な、基礎的技術について書かれた思考術・文章術のバイブル。

考えるのに役立つ本

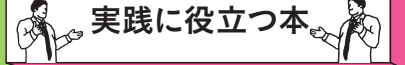


木下音がおすすめる

まちを変える人必読24冊



実践に役立つ本



『「甘い」の構造』
土居 健郎 著
弘文堂



まちの取り組みで重要なのは、馴れ合いの関係を築くことではなく、地域課題を解決すること。無意識に「甘い」の構造を自ら抱えていないか、常に注意しよう。

『小さなチーム、大きな仕事』
ジェインソン・フリード 他著
早川書房



小さなチームで仕事を成長させていく、新時代の仕事のあり方を実録した一冊。地域の取り組みでも、多様な働き方・関わり方を認めて成果を収めよう！

『「社会調査」のウソ』
谷岡 一郎 著
文春新書



社会調査の過半数がゴミ、という衝撃的な結論から始まる一冊。わかりづらい「調査・統計」をきちんと整理し、本当に使える情報を精査する鑑識眼を鍛えよう！

『コラーのマーケティング3.0』
フィリップ・コラー 著
朝日新聞出版



地域活性化で重要な事業を顧客にへどのように展開するか。マーケティング手法の変化を理解し、新たなやり方に対応する上で役立つ一冊。

『イノベーションのジレンマ』
クレイトン・クリステンセン 著
翔泳社



アメリカで地域に必要な広場などを2000以上整備してきたNPOの物語。民間が公共に替わることが可能だと強く認識できる一冊。

『内向型人間の時代』
スーザン・ケイン 著
講談社



対人スキル以前に重要なのは、落ち着いて自分の頭で考えること。適切な内向性は、まちで仕掛ける人間に求められる能力の一つだ。

『クリティカルチェーン』
エリヤフ・ゴールドラット 著
ダイヤモンド社



プロジェクト・マネジメントの基本と異について、物語を通して理解できる。私もこの本で生産プロセスとマネジメントの双方に関心を持った。

『知的複眼思考法』
荻谷 剛彦 著
講談社



地域課題に取り組むには、常識を鵜呑みにするだけでなく自分の経験に依存するだけではない。物事を複数の視点から読み解く方法を学ぶ一冊。

『自分のアタマで考えよう』
ちきりん 著
ダイヤモンド社



常識が通用しないときの解決策は、自分の頭で考えるしかない。「当たり前」に流されず、常に考える習慣をつけることが大切だとわかる一冊。

『創造の方法学』
高橋 正昭 著
講談社現代新書



論理的思考を支える基礎的な因果関係を解説した、ロジカルシンキングが苦手な人も読める一冊。

『失敗の本質』
戸部 良一 他著
中央公論新社



日本軍が様々な戦場で行った失敗を細かく分析。なぜ問題は起こるのか、そしてどう解決するのか、日本型組織が抱える問題をつきつける一冊。

『モチベーション3.0』
ダニエル・ピンク 著
講談社



人々が本気になって地域で取り組みを進めるためには、懲罰や金銭だけではなく、新たなモチベーションを引き出す必要がある。やる気のあり方を考え直してみよう。